



お引越し



11月のメインイベントは、なんとと言ってもお引越しでしたね。忙しくて、みんな精神的にも肉体的にも疲れてしまって、いろいろなことがあった様な気がします…皆様お疲れ様でした！

今回の引越しで、W202はE405へ、E405はE505へ移転しました。1階の研究室はそのままです。移転に伴い、研究室のメンバーの部屋割りもちょっと変わって、5階には女の子が二人増えて学生7名+事務の上原さん、4階は1階と同様男子部屋となりました。何が大変だったって、割り当てられたスケジュール。11月20日(月)午後だけで引越業者が4階の荷物を5階へ、間髪いれずに開いた4階の研究室へ2階の荷物を運ぶ。その間に4階には実験台の搬入があって…いやいや、無理でしょう。そんなスケジュール。2階の研究室では、11月2週目から実験器具などの仕分けと箱詰めを行い、4階も3週目には自分達であらかた引越し

作業を終えてしまいました。業者さんを当てにしなかったことが功を奏して、何とか無事収まりました。鶴の一言を発してくださった南先生と、皆に指令を飛ばしてくださった大石さんのお陰ですね。感謝。ある日の引越し作業後には、荷物の積みあがった研究室で、生殖の皆さんと飲み会に流れ込んでしまうというハプニングもありましたね～。移転先の研究室では、レイアウトや席も変わり、新しい気分で研究に取り組みそうです(?)



引越し荷物が山積み…

5階の研究室にはキッチンがあり、熊谷先生から引越し記念にと、ガスコンロ&電子レンジを頂きました。今年の忘年会は、ここで決まり！



目次:

学生実験が行われました	2
NF前夜祭	3
飼育当番の変更について (熊谷先生からの告知)	3
日本遺伝育種学会	3
お知らせ	4

山羊の実験始まる



山羊を使った実験が本格的に始まりました。11月下旬から、フランスさんが予備実験として山羊の第一胃内の発酵特性を調べたのに続き、実験系アイドル金島さん(!)がダイショの茎葉部の採食性と消化性を調べる実験に入っています。この実験では、7日間の馴致期間とそれに続く6日間の本実験、というサイクルが来年の2月まで4回繰り返される予定です。また、これら実験に伴って山羊の飼育に関する仕事や飼育当番制が変更になっています(詳しくは3ページをご覧ください)。4回生の椎野君は、11月中旬から高原(京大付属)牧場で竹の飼料化を目指した研究に取り組んでいます。毎週月曜日の給餌用粗飼料調整に加え、3週間に一度サンプリングを

行い、ルーメン液のvitro消化試験とプロトゾア数・pH・VFA・アンモニア体窒素の測定、牛糞の乾物率・アンモニア体窒素・pH・VFAの測定、給与飼料量および残滓量の測定と一般化学成分の分析を行っています。次のサンプリングは25日だそうです。実験系ボス田端さんは、自分の研究に加え、実験指導、次の実験準備、地下の整理整頓などで大忙しです。竹内さんは、サンプルが九州から届き次第、測定に入ります。

クリスマスもお正月も返上覚悟で頑張る実験系の皆さんを応援しましょう。(差し入れには、まだ若干の余裕があるそうですよ♪)

研究室の引越し、本格的な実験始動、3回生の学生実験、11月祭…と忙しかった11月がめまぐるしく過ぎ去ったと思ったら、季節はすっかり冬です。こんなに寒くなったのに、先日飼育棟で蚊を見かけました。なかなか腰麻痺予防が止められません。山羊達は、実験で何度も第一胃の消化液を抜き取られ、人間不信気味です…夏に植えたとうもろこしや枝豆は残念ながら収穫には至りませんでした。が、トマトだけが冬を前に色づいて、とても甘い実をつけました。



学生実験が行われました

3回目の学生実験は、10月4日から5日にかけて行われました。今回はお手伝いメンバーが少なかったため、うまく出来るか不安でしたが、W202のメンバーは前日1日かけて、準備物の確認や、試薬作成をしてくれました。率先して素晴らしい働きをしてくれた彼、彼女らに深く感謝です。

1日目

午前中ゼミだったため、お昼ご飯を食べずに急ぎで準備してくれた西尾くん、椎野くん。早速トラブル発生！、PH測定装置の補正值がおかしい。ここは、電極の溶液を入れ替えて復活。間一髪でした。もう12時半をまわっていたので、大急ぎで畜舎へ荷物搬送。椎野くんはこの荷物運びで筋肉痛になりました。

そうこうしている時に熊谷先生が学生を連れて畜舎へ登場。先生は作業着に着替えて本気モードでした。予定表では畜舎担当は2人でしたが、2階メンバー3人が急遽助っ人参戦。体重測定、ルーメン液採取、PH測定、餌の秤量を4班順にやっていくという複雑な動きに対応してくれました。ルーメン液採取を見た学生の反応は、「見てはいけないものを見てしまった」だそうです。たしかにヤギは絶叫してましたね。合掌。

ルーメン液採取

助けてー(東)

うまく取れるかな～



その後、畜舎に採食行動の学生を残し、残りは5階と2階に移動。ここでルーメン液が脱走、椎野君の活躍であえなく御用となりました。お疲れ様。In Vitro消化試験は準備のかいあってか、スムーズに事が運ぶと思いきや、ないもの発生。準備したつもりでも、不足があるものです。ここは熊谷先生の機転によりクリア。今年から研究室に来た実験系メンバーも最近では動揺せず、落ち着いて対応できるようになってきました。

1日目実験終了後、学生から研究室紹介してほしいとの要望があったため、急遽2日目に研究室の紹介をすることにしました。

完成！！



た。In vitro試験のガス発生量の測定のため、午前1時までの田端が急遽スライド作成、調子に乗って学生実験1日目のスライドも作成。終わったときには午前2時を回っておりました。おやすみなさいZZZ～～。

2日目

この日は、作業はVitro消化試験のみでした。椎野君と熊谷先生は雨の中、午前中牧場へサンプリング。2階メンバーは田端しかいない&当日本人寝坊のため、大急ぎで準備。火事場の力がここで発揮。学生がくるまでには必要な作業を終えました。この試験は実際全て作業を学生がするとなると大変な労力がかかるので、ちくしメンバーの作業代行が必要なのです。おかげ様で、再現性のある素晴らしいデータが取れました。万歳(マンセイ)！。

2日目のメインは5階でのスライド撮影。学生受けもよく、またはじめてスライドを見ながらアドリブで説明する熊谷先生の口調もさえ、抜群の出来でした。実験終了後、学生実験前日からゼミ準備で午前様の椎野君&田端、疲労でダウン。ちくしの皆様、学生実験本当にお疲れ様でした。

下の写真は学生実験の一コマ。皆楽しそうですね。ホワイトボードには、2階メンバーが描いたヤギが4頭。あれ？実験が終わったときにはもう1頭ヤギが殖え、あれあれ？豚も登場していました。



問：ここで問題です。ホワイトボードのヤギは誰がどれを書いたでしょうか？全て正解のかたには素晴らしい商品を用意しております。え？商品は何かって？プロ野球チップスとか。あ、だめですか、そうですか。じゃあやっぱり酒ですか。

以上、田端のレポートでした。

この第3回学生実験に引続き、4回目の学生実験が引越しの翌日(11月21日)から始まりました。引越し荷物の片付けなどでバタバタしていましたが、さすがに4回目ということもあり、ちくしのメンバーも手馴れたもの。K先生の軽い流血以外は問題なく、滞りなく行われました。



NF前夜祭



皆さんもご存知の通り11/22にNF前夜祭があり、わがチクシも参加してまいりました。私達の商品は「焼肉」で、祭りの出店にしては結構がつりな品目。さすが「はくび会」。

畜産資源研究室は、20日の引越し(僕は牧場で餌詰め・・・)、21,22日の学生実験、そして皆が抱えるそれぞれ個人の仕事と悩み、、、本当に大混乱の中での祭りとなりました。僕もできるだけお手伝いしたい思ってたのですが、結局行けたのは午後6時過ぎ。。(上原さんすみません)

そこから肉をひたすら焼く焼く。焼けてなくても出す出す。生だと言われでも無視無視。40kgあったという肉はどんどん無くなり閉店時間前になんと「完売」これも栄養、生殖、育種、畜資、生体機構、皆が力が合わせた結果です♪(でも、結局僕が食べた肉は、西尾さんからいただいた2口だけ・・・来年こそは・・・)

ちなみに、僕は翌日以降のNFにも店舗を出し『トン汁』売ってました。机や椅子は農学部の廃材置き場から調達。深夜に吉田グラウンドまで運び出しました。10種近くの食材(豚肉、人参、大根、サツマイモ、ねぎ、ゴボウ、大根、すいとん、じゃがいも)が入ってたにもかかわらず、なんと値段は100円。僕らの天性の勘で適当に味付けされたこの豚汁はなぜか超絶美味に。自他共に認める豚汁フリークの長命さんは、3杯も注文。いいちこも2杯飲んでいかれました。竹内さんも友達を連れてきて



くれ、売り上げに貢献してくれました。皆さん本当にありがとうございますm(__)mリピーター続出で、開店していた3日間で500杯近く売り上げ伝説となったのでした。

(椎野)

飼育当番の変更について

熊谷先生からの告知です。

5月のヤギ導入から約7ヶ月間、交代でヤギの飼養管理担当ご苦労様です。皆様に公式にお伝えする機会がなかったのですが、フランシスさんの発酵副生物インビトロ特性試験(11月13日-12月1日)、学生実験(11月21日-22日)、そして今後開始する金島さんのダイショ葉茎部インビボ消化試験準備(本試験12月5日-1月末日予定)のため、意図的に飼料内容、管理方法を細かく変える必要があったので、従来の当番制を一時休止し、当事者を中心とする飼養管理に変えました。今後基本的には試験中は試験担当者と指導教官による飼養管理体制を組みますが、消化試

験等長期に亘りサンプリング補助等人手が必要な場合は、当番制に戻す可能性もあります。その際は改めて皆様に打診しご協力をお願いいたします。また、金島さんの試験終了後、すぐに第一胃カニューレ装着手術を行い、術後一ヶ月程度安静に管理しますが、その際も基本的には当番制での管理となります。この手術により、インシチュのナイロンバッグ試験が可能となる他、第一胃液が唾液の混入なしで容易に採取できるようになり、来年5月以降の学生実験もスムーズに進められると思います。

(熊谷 元)

日本遺伝育種学会

11月18日から2日間、鹿児島大学で日本動物遺伝育種学会が開催されました。研究室で育種の分野で研究している人が少ないこともあり、今回は広岡先生と二人っきり(!)で行って来ました。行く前は学会で発表することより、広岡先生と2人で行くことの方が不安でしたが、道中いろいろ話せてよかったです。

さて、肝心の学会ですが、今回はポスターでの発表でした。ポスター発表で選ばれると皆の前でスライド発表ができることになっているのですが、残念ながら僕のポスターは選ばれませんでした。(せっかく用意したスライドがお蔵入りになっちゃいました。)

学会の最後には懇親会があり、そこでは黒豚のしゃぶしゃぶとくさんの焼酎が振舞われました。さすが、鹿児島です。懇親会の後には広岡先生の紹介で、仲の良い育種の人たちと飲みに行くことになり、次の日もシンポジウムがあるにもかかわらず、結局3次会まで飲んでいました。飲み会では勤めている研究所や現在研究していることについて結構深いところまでぶっちゃけて話して下さったので、とても面白かったです!

次の日に研究室の引越しがあり、学会が終わるとすぐに帰らなければならない、全然観光を楽しむことができなくて残念でした。でも、おいしい物はたくさん食べることができました。黒豚は有名ですが、僕が一番おいしいと思ったのはキビナゴのお刺身です。この魚の存在すら知らなかったのですが、一度食べたなら忘れられないですね。また、鹿児島に来たときには是非もう一度食べたいです。(西尾)

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

Tel: (+81)-75-753-6363

Fax: (+81)-75-753-6373

<http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/>

GOAT BULLETIN



ホームページもご覧ください。
<http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/>

お知らせ

今月のゼミ

引越しや先生方の出張などで、変更が相次いでいるゼミですが、年内の予定は以下の通りです。

12月14日(木) 午前10:30~ N-374にて
4回生卒論中間検討会(椎野君・竹内さん)

12月20日(水) 午前 菊原君・金島さん

12月20日(水) 午後 レニンさん・フランシスさん

日程および開始時間が通常と違いますのでご注意ください。



今月のお誕生日会

今月お誕生日を迎えるのは、フランシスさん(1日)と事務の上原美雪さん(11日)です。おめでとうございます。今月はクリスマスもあるので、クリスマスケーキでお誕生日会を...と企画中です。お誕生日会は15日(金)午後3時からを予定しています。どうぞお楽しみに!!



忘年会のお知らせ

今年も街のそここにクリスマスソングが流れるようになりました。年末ですね~。という訳で、研究室の忘年会を行います。今年は研究室OBの荻野さんが12月21日(木)に博士論文発表でいらっしゃいますので、その日に荻野さんの打ち上げも兼ねた忘年会を盛大に行いたいと思います。場所はE505、料理内容は現在検討中です。リクエスト大募集!



10月・11月の山羊の体重 山羊たちは生後9ヶ月。すっかり大きくなりました。

	9/28	10/4	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30
①トン	32.2	30.0	32.0	36.0	34.6	35.5	37.0	37.4	36.2	39.2
②ナン	34.0	31.9	35.4	38.0	38.0	40.0	39.6	39.4	40.2	41.2
③シャー	32.0	29.6	32.4	35.4	34.4	37.2	38.6	36.8	36.8	40.4
④ペイ	39.4	35.7	40.4	43.0	41.6	44.2	45.4	46.0	46.2	47.0



ルーメン液採取のあとほっぺの腫れたナンちゃん

出張報告

さる11月27日から12月1日まで、ジョージア大学 鶴田彰吾先生による特別講義『分散成分の推定』を帯広畜産大学で受講してきました。受講者は、統計遺伝学の専門家、大学講師、畜産家畜育種学研究室の研究生達20余名。内容はREML、ベイズ理論、モデルと結果の検討など、講義と演習でした。活発な質疑応答には、なかなか参加できませんでしたが、とてもいい刺激を受けました。畜大鈴木研究室の学生さん達は、懇親会のお酒の席でも熱く統計の話をしていて、ちょっとびっくり! いろいろな研究室の雰囲気があるものです。帯広のお隣、川西市は長芋の産地です。向こうで会った知人が、長芋を送ってくれました。研究室にも置いてありますので、お召し上がり下さい。(塚原)



帯広はもう雪景色...

編集後記

何年かぶりに名前入りのケーキをいただきました! いくつになっても誕生日を祝ってもらえるというのは嬉しいものです。このところ、皆さんの研究や実験が忙しくて、なかなか全体で集うことができません。こんな時こそお互い協力し合ったり、誤解が生じないように意思疎通を図ったりしたいものです。このGoat Bulletinを通じて皆さんの情報が共有できたらいいな、と思っています。(ようこ)

